

SYMPOSIUM  
02  
主権

# 「新炭素資源学」第6回国際シンポジウム -Aiming toward Low-Carbon Society-

日時:2010年11月12日~13日  
場所:九州大学筑紫キャンパス

九州大学総合理工学研究院 寺岡 靖剛

本COEは、年2回の国際シンポジウムを国内(福岡)と海外(連携機関と共催)で開催しています。2010年度は、海外開催の第5回シンポジウムをカーティン工科大学(オーストラリア、2010年4月21-23日)にて開催し、国内開催の第6回シンポジウムを、2010年11月12、13日に、新炭素資源学G-COEの主要な目的である「Aiming toward Low-Carbon Society (低炭素社会を目指して)」をテーマに、九州大学筑紫キャンパスにおいて開催しました。第6回シンポジウムにおいては、通常の基調講演、招待講演、一般講演、ポスター発表に加えて、新たな試みとしてNCRSセッション、学生ディベートセッション、ポスタープレトークセッションを企画、実施しました。

本シンポジウムでは、Prof. Yong-Gun Shul (韓国延世大学)による「Research and Technological Development of Carbon Materials in Korea [KN1]」とDr. Nitin Labhsetwar (インド国立環境工学研究所)による「Catalysis for Cleaner Energy and Environment [KN2]」の2件の基調講演が行われました。KN1では、カーボンナノファイバー等の新規炭素材料の合成と応用ならびにメタンやバイオマスからの液体燃料合成に関する韓国における研究開発動向が、KN2では、温室効果ガス排出抑制に関する非貴金属系触媒の研究開発動向が紹介され、何れも本G-COEの主要テーマに関連する興味深い内容でした。

一般講演は、2会場を使っっての平行セッション形式で行われました。海外連携5機関からの若手研究者による5件の招待講演と19件の口頭発表(九州大学所属のG-COE学生および博士研究員)がなされました。講演は、環境関連8件、エネルギー関連9件、材料関係7件と、本G-COEがカバーする分野間のバランスがとれた構成でした。

ポスターセッションでは38件の発表がなされました。発表者はほぼ全てがG-COE学生であり、活発な議論が繰り広げられました。

今回は、各発表者が3分間でポスター内容を紹介するプレトークセッションを設けました。短時間で自分の研究をまとめて分かりやすく説明するという通常の一般口頭発表とは異なるプレゼンテーション力が要求されますが、各発表者とも工夫を凝らした発表内容でした。また、事前に研究内容の概略がつかめたことで、ポスターセッションでの議論の活発化に繋がりました。

NCRSセッションは、今年度がG-COE事業の中間年度にあたることから企画したものです。永島拠点リーダーからG-COEの中間評価のプレゼン資料をもとに、これまでの事業の総括と今後の展開について報告され、海外連携機関からの参加者も含めて活発な議論が行われました。G-COE事業の中間地点において、事業の意義、目的の再確認と今後の活動に対して海外連携機関研究者も含めて改めて確認、共有でき、有意義なセッションでした。

グローバルに活躍できる人材を育成することを旨とするG-COE事業においては、ディスカッション、ディベート力の涵養も重要です。この目的のために、過去2年間は上海交通大学との間で学生ディベートを企画、実施してきましたが、今回は九大G-COE学生間でのディベートセッションをシンポジウムの一セッションとして組み込み、その企画、運営の全てを学生に任せました。日本人学生の発言が少なかったことは残念ではありますが、1

時間30分の設定時間が短く感じるほど活発な議論が交わされ、充実した内容でした。なお、本セッションの学生による報告は別掲します。

日本での開催の本シンポジウムは、参加者161名の大半が九州大学の教員、博士研究員、G-COE学生でした。しかし、海外連携機関から招聘した13名を含んだ活発な意見交換、シンポジウム開催は、G-COE学生を含む若手研究者の育成と連携機関間の相互理解の深化を目的とする本シンポジウムの主旨を十分に満足したものでした。また、今回基調講演をお願いしたProf. Yong-Gun Shulが所属する延世大学は、今後G-COE海外連携機関として活動することで合意し、第7回新炭素資源学国際シンポジウムを2011年度前半に延世大学において開催することが決定しました。

最後に、本国際シンポジウムの開催にあたり献身的なご尽力を頂いたG-COE事務局のスタッフの方々に厚く御礼申し上げます。

## 講演一覧

### 【基調講演】

**Yong-Gun Shul (韓国 ヨンセ大学)**

"Research and Technological Development of Carbon Materials in Korea"

**Nitin Labhsetwar (インド NEERI-CSIR)**

"Catalysis for Cleaner Energy and Environment"

### 【招待講演】

**Agus Jatnika Efendi (インドネシア バンドン工科大学)**

"Improvement of Oil-Contaminated Soil Bioremediation by the Addition of Bio-surfactant Producing Bacteria Varied with Bulking Agents"

**Shan Wang (オーストラリア カーティン工科大学)**

"Pyrolysis of Mallee Leaves"

**Ping Liu (中国 上海交通大学)**

"Modeling the Air Pollutants and Their Formation Processes in Shanghai"

**Seongyop Lim (韓国 エネルギー研究院)**

"Electrochemical Characteristics of Nitrogen-doped Carbon Nanofibers Directly-Synthesized from Acetonitrile"

**Suresh Kumar Megarajan (インド NEERI-CSIR)**

"Catalytic N<sub>2</sub>O Decomposition over Zeolite and Perovskite Based Catalysts"

